

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地



令和六年六月度 入賞句一覧

投句数 千三百五十二句

特選

高木 佐知子 選

かくしてた小さなお手紙母の日に

大垣市

南瀬 杏奈(小六)

ありがとうの気持ちを手紙にしたためて伝えようとすると作者のあたたかい気持ち
伝わってきます。さらに、お母さんに見つからないように大事にしていたことが、上
五・中七の「かくしてた小さなお手紙」からわかります。いつもとは違う格別な「あ
りがとう」を伝えることができましたね。作者とお母さんの笑顔が目には浮かぶ温かい
一句です。

こうえんでパパのたまキャッチ春休み

大垣市

かわむら いおり(小二)

お父さんとキャッチボールをするのは何回目なのでしょう。いつもの公園のいつも
の場所で、いつものようにパパのたまをキャッチして、楽しい時間を過ごしている作
者のはずんだ気持ち伝わってきます。パパのたまをパシッと受け、思い切り投げ返
す力強さも表現できています。「春休み」という季語がぴったりの元気な一句になり
ました。

はちがきたいそいでにげるくつぬげた

大垣市

市川 しゅり(小二)

はちがきたら急いで逃げますよね。突然のことで慌てて逃げようとしてくつがぬげ
たという展開が、俳句に楽しさを加えています。はちがきてこわかった作者が、ぬげ
たくつをはこうとしてますます慌てる様子が想像されます。もしかしたらくつがぬげ
たまま逃げたかもしれないですね。下五の「くつぬげた」が、俳句に広がりをもたせる力
をもつことを学ぶことができる一句です。

秀逸

風鈴にそそのかされて廻り道

加茂郡川辺町

河合 優菜(中二)

夕立であわてて洗たくしまう母

加茂郡川辺町

三宅 墨斗(中三)

制服に青葉をそえて第一歩

不破郡垂井町

川瀬 宗顕(中一)

ああこわいぼくのじてんしゃくものすだ

大垣市

なか村 友二(小三)

妹が桜につられまわってる

大垣市

柳瀬 才嬉(小五)

だんご虫つんつんするとまるくなる

大垣市

いち川 ひまり(小二)

たなばたにおねがいしたらかなうのか

大垣市

上田 葵い(小二)

ごきぶりははえたたきではむずかしい

大垣市

まつ本 一のすけ(小三)

はるのほしみてるあいだにねむくなる

大垣市

馬淵 陽(小五)

初夏むかえ空色変わる日曜日

大垣市

こだま あおい(小六)

入選

小中学生の部

はいチーズ向日葵みたいあの笑顔	加茂郡川辺町	福園 恵菜(中二)
日焼して笑われるかな始業式	加茂郡川辺町	吉井 脩吉(中二)
かたつむりコンクリートに粘り着く	加茂郡川辺町	井戸 風うり(中三)
わらび餅美味しそうなきなこ舞う	加茂郡川辺町	田口 凱也(中三)
初夏の風おいしいかおりもつてくる	大垣市	川合 紗友莉(小四)
学校のまどから見える春ぐもり	大垣市	小寺 佑奈(小五)
はるの日は花ふんつらいなハツクシヨン	大垣市	李 俊澤(小五)
桜もちだれが食べるかじゃんけんだ	大垣市	大山 さくら(小六)
あじさいの水てき輝く雨のまほう	大垣市	鈴木 佐和(小六)
ほたるはねきれいな川にすんでるよ	大垣市	たにざき うた(小二)
ふうりんがゆらゆらゆれて夏をよぶ	大垣市	まるやま ふみか(小三)
あたたかいはるのおそとはぼつかぼか	大垣市	田中 俊彰(小三)
はるのつきまんまるだからおもちだね	大垣市	こばやし こうや(小三)
ゆかたきておばやしきにはいつてく	大垣市	戸谷 ゆうり(小三)
あついなかみんなとそとでおにごっこ	大垣市	古さわ しゅうや(小三)
お祭りでしゅわつと飲んだソーダ水	大垣市	河合 悠望香(小六)
子供たち見上げているよこいのぼり	大垣市	前田 瑤実(小六)
ゆらゆらとゆれる牡丹に見とれちゃう	大垣市	大橋 万葉(小六)
星涼し一つ二つと輝いて	大垣市	坂 ひまり(小六)
ピカピカと光るホタルにひとめぼれ	大垣市	兒玉 琉花(小五)

選者吟

バスを待つ背ナのリュックに夏帽子

佐知子

